

## 鹿沼市永野地区で村をPR

12/21

栃木県鹿沼市の南部に位置する永野地区で行われた「冬の祭典クリスマス in ながの」。招待を受け出展した村のブースは、地元特産品を活かした飲食コーナーの中に置かれ、地元の人々が多数足を止めていました。また、会場の一角にパネルを展示して、被災前後の村のようすも紹介しました。

同市からは一時避難以来、こうしたさまざまな機会に継続的な支援をいただいています。

応援をありがとうございます。▶  
サンタ姿のかわいらしいお客様



## いいたて 便り



ひと月のできごとを  
振り返ってお知らせします

## 12/23 ふくしま大交流フェアと避難者交流会



「どうぞ飲んでみて」  
和やかにすすめて

東京国際フォーラム(東京都千代田区)で、県主催の「ふくしま大交流フェア」が開かれ、郷土料理やB級グルメ、手工芸の体験、フラダンスや対談他のステージで、地域の魅力を発信。村のブースにも多くの来場者が立ち寄り、店先に立った村民が日本酒やどぶろくの試飲をすすめるなどして物産をPRしました。また並行して「ふくしま避難者交流会」も行われ首都圏に避難する県民が交流しました。

## 村消防団の出初め式が行われました

1/5

村消防団の観閲式及び消防出初め式が、福島市飯野町の飯館中学校仮設体育館で行われました。

消防出初め式には、村消防団の団員と女性消防隊など約150人が、避難先から駆けつけ出席しました。村長や荒利喜村消防団長らがあいさつの中で、団員の労苦をねぎらい、今年1年の火災予防に決意を示すと、各団員は表情を一段と引き締めていました。



▲整列して姿勢を正し検閲を受ける団員の皆さん

## みんなで 村内で頑張っています!



### ～グループ補助金を活用して～

《グループ構成員アンケート結果より》

- ・ 村内事業再開して良かった点
- ・ 自社工場なので気を使うことなく使用できる
- ・ 再開でき精神的に安心して取引先とつながりを維持できた
- ・ 村内事業再開後の課題点
- ・ 通勤が大変
- ・ 仕事が減少
- ・ 事業継続に不安
- ・ 事業再開を検討されている方へのメッセージ
- ・ 仕事をすると、精神面肉体面で非常に良いです
- ・ 皆で力を合わせ頑張りました
- ・ お互い希望を持って頑張ろう
- ・ 不安は多いが共に進んでいきたいと思います

企業が村内で事業を再開する際、国、県の支援策として「中小企業等グループ施設等復旧整備補助事業」(以下、グループ補助金という)があります。このグループ補助金は、震災後、村外へ避難した企業等が村内での事業を再開するに当たり、必要な施設・設備の復旧・整備をする経費の一部を補助する制度で、31社の企業が活用しています。(平成26年1月現在) また、補助金の活用にあたっては、グループとしての共同事業を行うこととなっています。

村内で、グループ補助金を活用して、事業再開している事業者らの共同事業として、昨年12月12日に飯館村役場本庁において、「放射線に関する研修会」を開催しました。研修会は、東京医療保健大学教授、伴信彦氏を講師に迎え、『放射線被ばくとそのリスク』と題して講演が行われました。講演では、村内において安全に事業を行っていただくための放射線に関する正しい基礎知識に加え、従業員の健康管理方法などが述べられました。村は現在、避難指示解除準備と居住制限、帰還困難の3区域に再編されており、帰還困難を除いた区域では国の許可により一部事業再開が認められておりますので、村内での事業再開や補助金等については、生活支援対策課商工労政係までお問い合わせください。

☎生活支援対策課商工労政係  
024-562-4232

## 入札結果

入札日 / 平成26年1月15日(単位:円)

工事(業務)の番号・名称	契約額(税込み)	請負業者	完成予定
平成25年度 公用車購入	1,502,655	大澤自動車整備工場	平成26年 3月末
平成25年度 公民館敷地測量設計業務	8,400,000	㈱船橋コンサルタント	平成26年 3月末
平成25年度 被災地域農業復興総合支援事業 基幹事業農業用施設等整備工事 (二本松市内)	6,195,000	大内わら公品㈱	平成26年 3月末
平成25年度 コンビニ収納導入システム改修等業務	2,205,000	㈱福島県中央計算センター	平成26年 3月末